

クリニカルラダーを導入した新人教育

太田ネフロクリニック

看護部 ○鈴木 教正 坂倉亜沙美 関 舞子 佐藤小百合
高橋 智仁 中山知香子 西野貴江 山中祐治
二階堂剛史 酒井伸一郎

【目的】

安全かつ質の高い専門医療を実現
するためには、技術の標準化とキャ
リア開発は重要となる

今回新人教育の中のプライミングを
取り上げ、クリニカルラダーを導入し
たので報告する

【対象】

- 新人看護師10名 (平成21年4月から22年4月までに入職)
- 指導看護師5名 (経験年数5年以上で透析技術認定士取得者)

【方法】

- ①従来の教育プログラムを受けた新人看護師と指導看護師にアンケートを取り、問題点を明確にする
- ②クリニカルラダーを用いたプライミング新人教育のマニュアル作成をする
- ③クリニカルラダー導入後、新人看護師と指導看護師にアンケートを取り、改善点を評価する

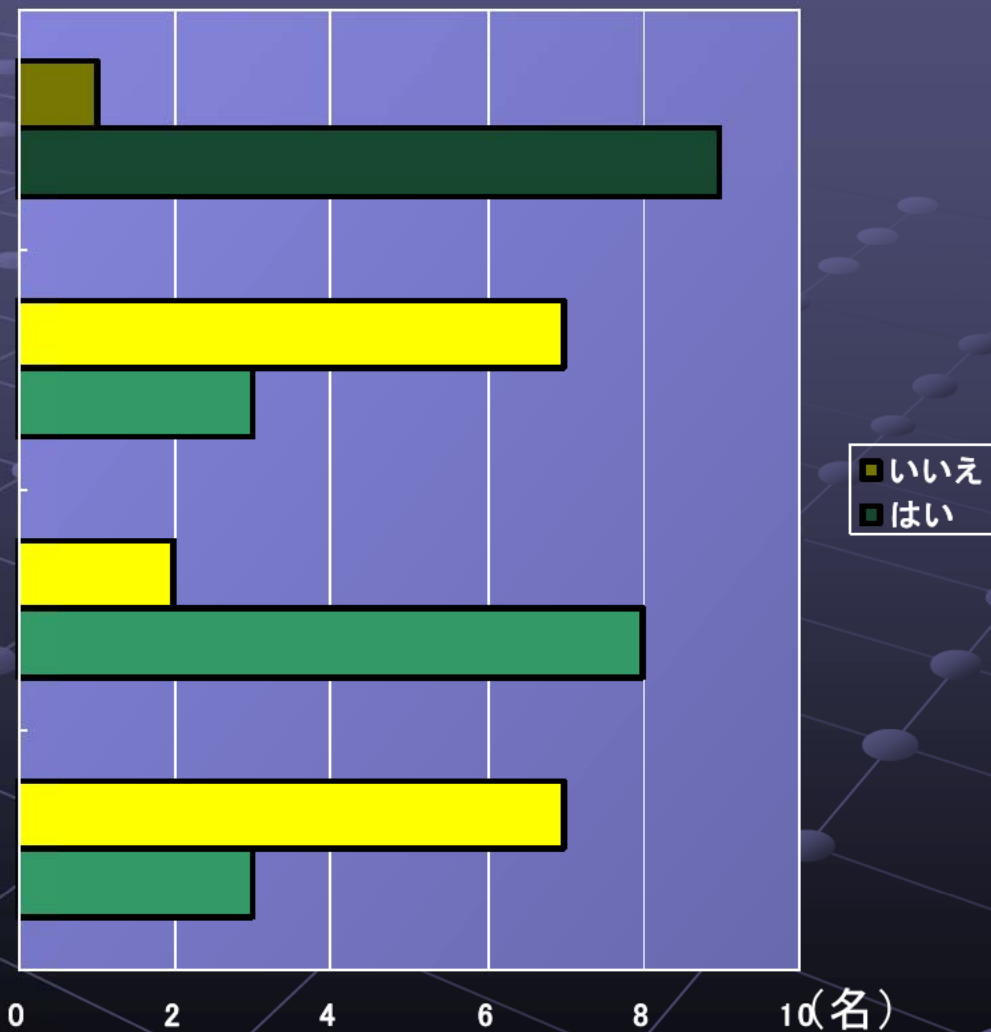
【①結果 新人看護師アンケート結果】

指導者によって指導が異なりましたか？

自分の到達水準を理解していますか？

指導のペースは早かったですか？

指導者とコミュニケーションがはかれましたか？



【①結果 新人看護師】

- 指導者によって指導内容が異なり混乱した
- 自分がどこまで到達しているのか不安だった
- 理解する前に進んでしまった
- 技術的なことを覚えればいと、解釈していた
- わからないことを質問できなかった

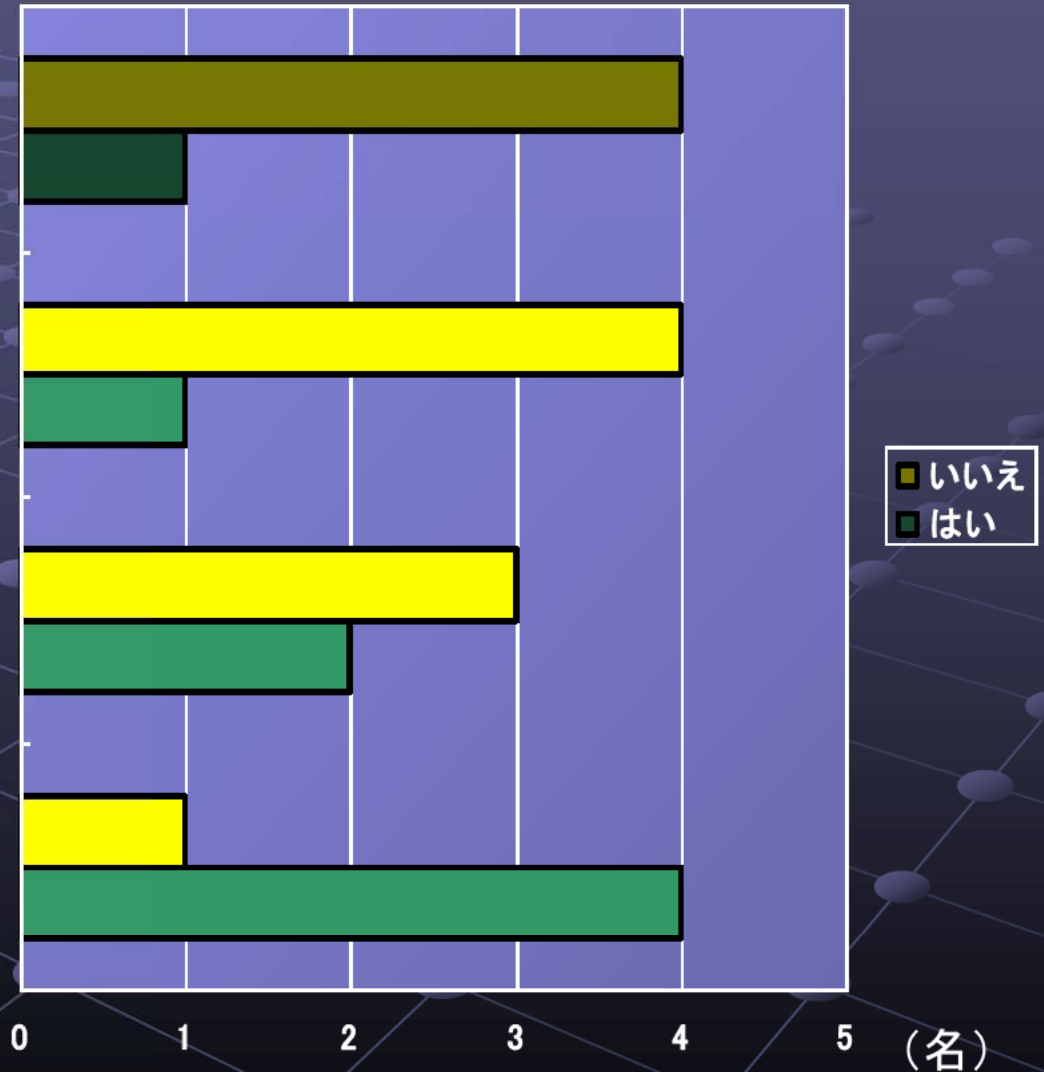
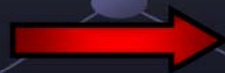
【①結果 指導者アンケート結果】

新人に合わせた指導ができましたか？

新人の到達水準を理解していましたか？

コミュニケーションがはかれましたか？

申し送り用紙がなく苦労しましたか？



【①結果 指導看護師】

- 指導後の理解度把握が難しい
- 新人のペースに合わせた指導ができなかった
- 指導者により教え方が異なり指導しにくかった
- 自分達が普段使用している専門用語(ピロー・チャンバー等)を理解してないことがある
- 質問がないので理解していると思った

【②結果 以前のマニュアル】

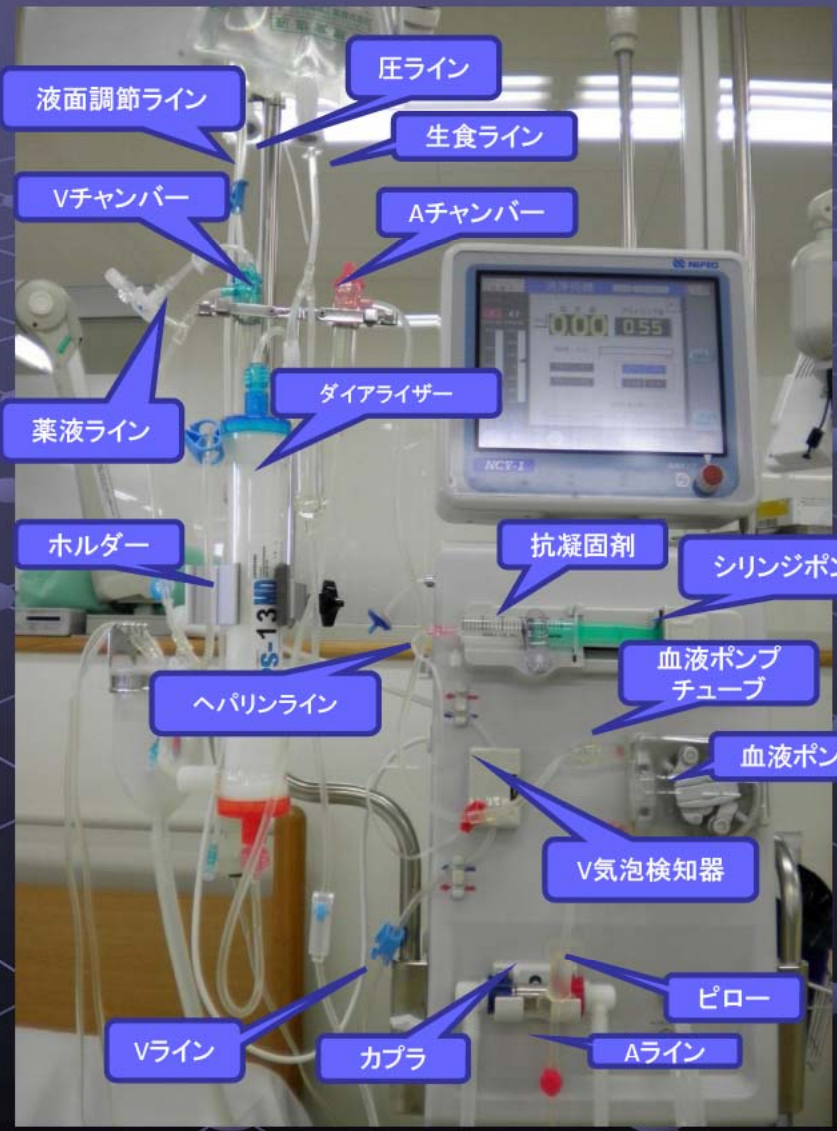
入職から2Wまで

チェック項目	4/ 3	4/ 4	4/ 5	4/ 8	4/ 10	4/ 11	4/ 13	4/ 17
血圧測定ができる	○							
翌日準備ができる			△			○		
除水量の計算ができる								
検査データがわかる								
機械チェックができる							△	
プライミングの目的、方法がわかる	×	×						
プライミングが出来る	×	×						△
プライミングの練習ができる	×	△	△	△	○			
急変しやすい時間帯がわかり対処ができる								
指導者サイン	鈴木	山中	鈴木	鈴木	中山	西野	高橋	鈴木

【②結果 プライミング用ラダー】

所属 太田ネフロクリニック		経験年数 なし	年齢	氏名 太田 ネプロ	評価日 H・22・7・4
NO	要求水準	項目			保有水準
1-1	A	清潔不潔がわかる			A B C
1-2	A	スタンダードプリコーションがわかる			A B C
1-3	A	プライミングの目的がわかる			A B C
1-4	A	血液回路の各部位の名称がわかる			A B C
1-5	A	必要物品がわかる			A B C
1-6	A	プライミング前手洗いをする			A B C
1-7	A	手袋を着用している(着用後ウエルパスにて消毒)			A B C
1-8	A	患者様の治療条件にあった物品の確認			A B C
1-9	A	血液回路がセットできる			1 2 3 4
1-10	A	抗凝固剤が接続できる			1 2 3 4
1-11	A	血液回路セット後、回路の6箇所クランプする			1 2 3 4

1-4 血液回路の各部位の名称がわかる



1-5 必要物品がわかる



申し送り表

日付	項目	指導者	サイン	担当者	サイン
4・15	1 - 11	回路セットはできます。 しかし回路セット後6箇所のクランプを忘れる事がありますので確認とご指導よろしくお願ひします。	鈴木	今日もクランプを忘れる事がありました。クランプを忘れずするよう指導しました。また、1-8物品のチェックもしている様子がありませんのでもう一度、確認よろしくお願ひします。	山中
4・20	1-15 1 - 1 7	血液ポンプ内のエアを抜く動作がうまく出来ないようです。 Aチャンバー内のエアを抜く動作を忘れることがありますので確認とご指導よろしくお願ひします。	鈴木	ポンプ内のエア抜きについてですが、A側を下V側を上にもむけると抜けやすいと指導しました。Aチャンバーのエアはしっかり抜いていました。ゆっくりではありますがしっかり出来ていると思います。	高橋
4・23	1 - 2 2	Vチャンバー内への生食の充填が少ない時があります。どこまで溜めるか指導済みです。本人へ確認し既定量に満たない時は指導お願ひします。	鈴木	既定量を確認したのち実施してもらいました。そのせいかむらがなくできていました。	中山
4・30	1 - 3 0	準備ボタンを押す際、濃度を確認せず周囲をみて押している時があります。しっかりと許容範囲内の濃度であるか確認するよう指導お願ひします。	鈴木	許容範囲の濃度についてですが、理解不足のようです。再指導したほうが良いと思います。今回は教えず調べるよう指導しました。	関



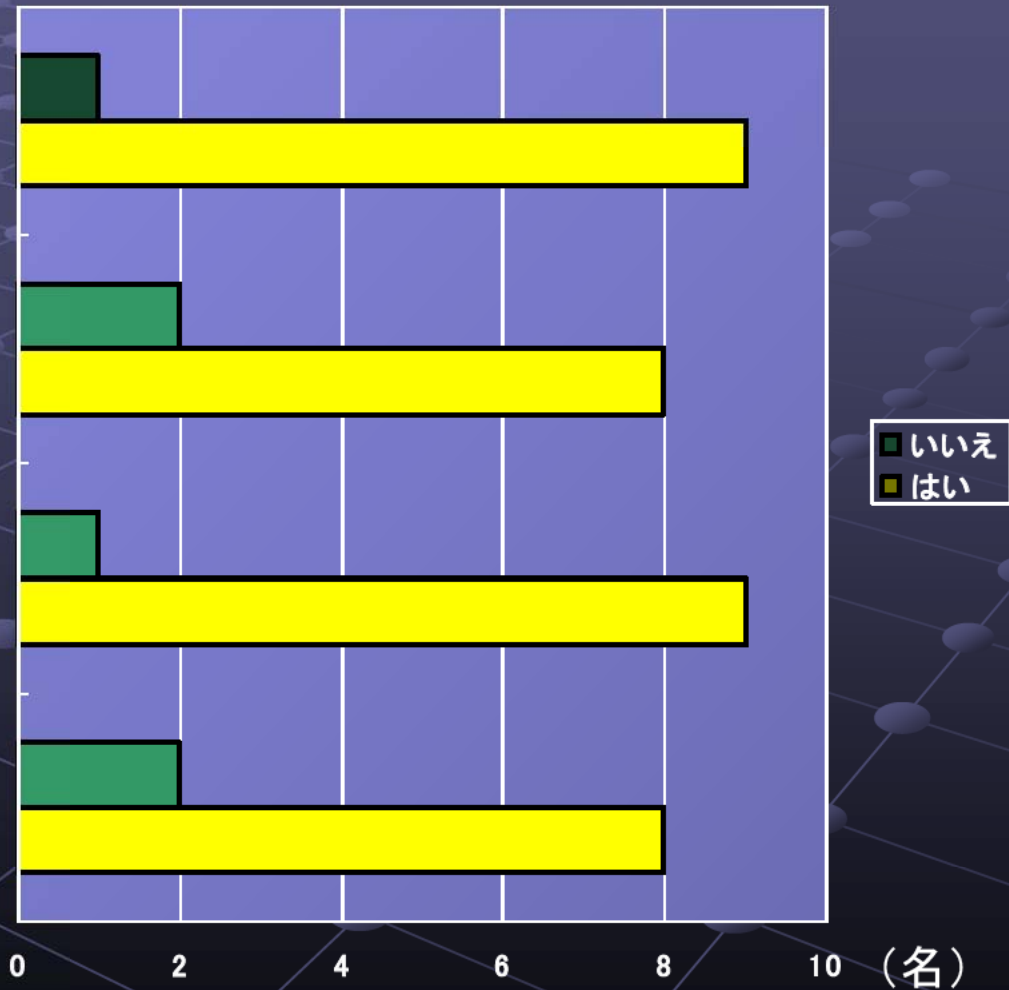
【③結果 新人アンケート結果】

指導のばらつきはなくなりましたか？

自分の到達水準が理解できるようになりましたか？

わからないことを質問ができるようになりましたか？

新マニュアルはわかりやすいですか？

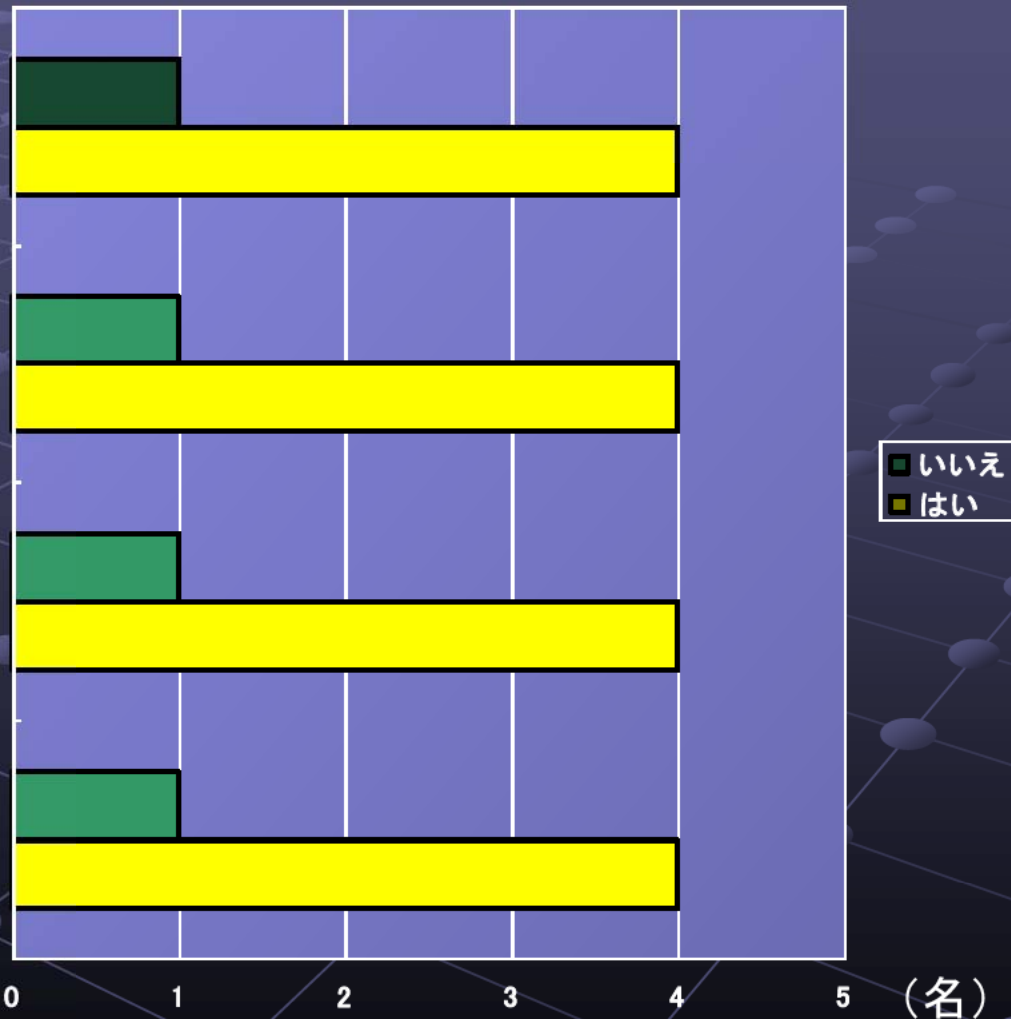


【③結果 新人看護師】

- 指導内容が統一され、理解しやすくなった
- 自分の到達水準が客観的に捉えることができた
- わからないことを質問できるようになった
- 写真等の添付により、わかりやすくなった
- 自己評価ができ、理解しながら進んだ
- 項目が多すぎて、難しく捉えてしまった

【③結果 指導看護師】

新人に合わせた指導が出来ましたか？



旧マニュアルに比べ指導しやすくなりましたか？

客観的な評価は可能になりましたか？

申し送り表は有効活用できましたか？

■ いいえ
■ はい

0 1 2 3 4 5 (名)

【③結果 指導看護師】

- 到達水準に合わせて指導・評価ができた
- 具体的なマニュアルがあることで、より詳細な指導ができた
- コミュニケーションがとれるようになった
- 詳細な申し送りをするようになった
- 自己の知識不足を感じた

【考察】

- クリニカルラダーシステムを導入しての教育プログラムへの取り組みは、自己の客観的評価を可能とし自己向上、技術の統一化のきっかけ作りが出来たと考える
- 指導スタッフにおいても新人教育を通して、自己知識レベルを再確認でき、さらには組織全体のレベルアップにつながると考える

【結語】

クリニカルラダーシステムとは、育成と評価をシステムとして稼働させ、新人教育やその後の生涯教育の能力育成に役立つとベナーは述べている

今後の課題とし、すべてのスタッフを対象に、ドレイファス・モデルを参考にしたラダーを作成し、生涯教育に力をいれていきたい